

前橋市立前橋高等学校

めぶく

地域活性化プロジェクト




探究通信
めぶく16号
R7.2.7
1学年まとめ号



絵本「ゆりちゃんといっしょパチリリ」を作った生徒たちは昨年度に卒業したが、7月27日(土)に「小学生みつばち教室」(前橋市まちづくり公社主催)の運営協力を行ってきた。午前、午後の部に分かれ計14名の1年生が参加してくれた。小学生と共にみつばちの生態を知り、人間とのつながりについて学んできた。卒業した絵本プロジェクトメンバーの妹が参加してくれ、この活動の「つながり」をも感じることができた。



地域活性化プレゼン「ちいぶれ！」を実施

1年生全員が取り組む、初めての個人探究



他県の成功事例を踏まえた上で具体的解決手段を語った(最優秀プレゼンテーション)

1月23日(木)に1年生が「ちいぶれ！」全体発表会を行い、前週にクラス発表で勝ち抜いた代表6名がプレゼンテーションを行った。この活動は全員が7月

に行った大学見学会や夏の課題にもなったオープンキャンパスと9月に行った「まちなかりサーチ」で得た知見を生かして、「大学の学び×地域活性化」でプレゼ



ンテーションを行うものだ。それぞれが設定した地域課題を自身の興味ある学びの分野で解決するという具体的提案までを求めるものであり、決して簡単な活動ではない。この日を迎えるまでに生徒たちはたくさんの方から講演をいただいた。まちなかりサーチの事前指導として前橋国際大の奥田先生や児浦先生、まちなか

は本校の探究学習に深い関わりを持つ見目さんに来ていただいた。生徒たちは今までインプットしたことを活かし、発表に向けそれぞれ探究を深めていった。クラス代表に選ばれた発表を振り返ってみると、次の3つのポイントがあった。
①自身の設定した課題と学問の結びつきがしっかりとされていること
②主張の根拠をデータや資料で出していること
③他団体の事例を引っ張ってくることで、以上を明確にしているものはわかりやすく、聴衆を納得させた。経済学や建築学、文学や栄養学など様々な分野からアプローチし、地域活性化策を展開していた。この活動は探究学習を深めるだけでなく、生徒にとって自身の進路に向き合うための一歩になったことと思う。

まちなかりサーチ

「地域課題」とは何か



9月19日(木)に前橋中心商店街にて「まちなかりサーチ」を行った。今回も様々な店舗の方々にお世話になったが、例年とは異なり、元氣プラザ21内のにぎわい商業課や観光コンベンション協会、まえばしCI TYエフエムやアーツ前橋、



また、前橋市まちづくり公社や文学館などの公共施設でも積極的にインタビューストをすることにした。やり方としては、各クラス5人ずつ8グループに分かれ、担当所でインタビューを行う、事前準備として生徒はその店舗や施設の概要

とめた報告書を作成した。問題だと思っていなかったことも他者の意見を聞くことで気づくことがある。生徒たちは、このフィールドワークを通して、前橋のまちなかで生活する先輩たちから地域の未来を考えるきっかけをいただいた。

事前学習を充実させたことでよい情報収集を行うことができた。や歴史を調べておき、自分たちの知りたい情報を得るためのインタビュ項目を考えておく。そして、インタビュの際には「前橋に足りないものは何か」をマスト質問とし、地域課題を言語化するという活動だ。また、今回は調査結果をまとめた報告書を作成した。問題だと思っていなかったことも他者の意見を聞くことで気づくことがある。生徒たちは、このフィールドワークを通して、前橋のまちなかで生活する先輩たちから地域の未来を考えるきっかけをいただいた。